

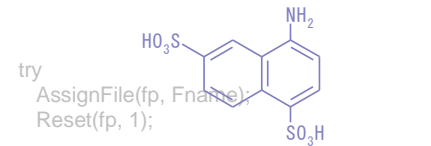
業務案内

Fine to Next

Since 1968, Environmental Science Research Niigata (ESRN) has been operating in the chemical analysis and environmental research field. We work through a highly specialized researcher who approaches clients. Our main business concerns are legal inspection in Japan, chemical analysis, environmental research and microanalysis.

$$\sum nC_{Ai} (\mu\text{mol L}^{-1}) = 2C(\text{SO}_4^{2-}) + C(\text{NO}_3^-) + C(\text{Cl}^-)$$

$$\Lambda_{\text{calc}} = \{349.7 \times 10^{(6-\text{pH})} + 80.0 \times 2C(\text{SO}_4^{2-}) + 71.5C(\text{NO}_3^-) + 76.3C(\text{Cl}^-) + 73.5C(\text{NH}_4^+) + 50.1C(\text{Na}^+) + 73.5 \times C(\text{K}^+) + 59.8 \times 2C(\text{Ca}^{2+}) + 53.3 \times 2C(\text{Mg}^{2+})\} \div 10000$$



while not Eof(fp) do begin
BlockRead(fp, Buf, SizeOf(Buf), NumRe
msg := IntToHex(address, 4) + ' ';

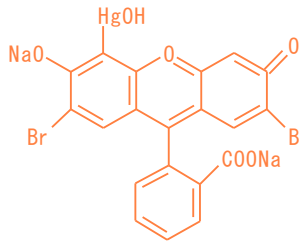
for i:=0 to NumRead-1 do begin
x := Word(Buf[i]);
msg := msg + ' ' + IntToHex(x, 2);
end;
for i:=NumRead to 16-1 do begin
msg := msg + ' ' ;
end;

for i:=0 to NumRead-1 do begin
x := Word(Buf[i]);
if (x>=\$30) and (x<=\$7e) then begin
msg := msg + format('%1s', [Buf[i]])
end else begin
msg := msg + ' ';
end;

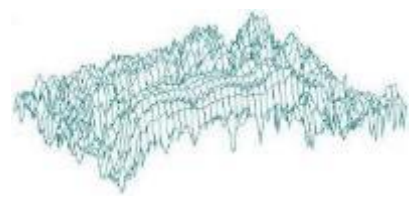
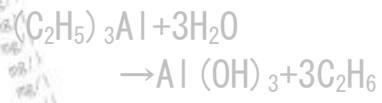
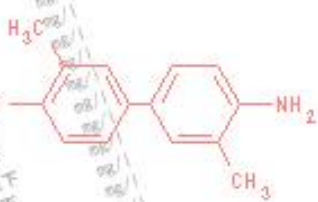
end;
for i:=NumRead to 16-1 do begin
msg:= msg + ' ' ;
end;

Field.Lines.Add(msg);
address := address + 16;
if address>\$07D0 then begin // 0x07D0
break;
end;

Application.ProcessMessages;
if StopButtonFlg=1 then begin
break;
end;
end;



項目	検出されないこと	単位
100以下	100以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
0.0025以下	0.0025以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
0.05以下	0.05以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
0.05以下	0.05以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
10以下	10以下	mg/l
0.5以下	0.5以下	mg/l
0.002以下	0.002以下	mg/l
0.004以下	0.004以下	mg/l
0.02以下	0.02以下	mg/l
0.04以下	0.04以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
0.006以下	0.006以下	mg/l
0.03以下	0.03以下	mg/l
0.01以下	0.01以下	mg/l
0.04以下	0.04以下	mg/l
0.1以下	0.1以下	mg/l
0.03以下	0.03以下	mg/l
0.09以下	0.09以下	mg/l
0.1以下	0.1以下	mg/l
0.002以下	0.002以下	mg/l
0.003以下	0.003以下	mg/l
0.006以下	0.006以下	mg/l
0.02以下	0.02以下	mg/l
1.0以下	1.0以下	mg/l
0.3以下	0.3以下	mg/l
1.0以下	1.0以下	mg/l
200以下	200以下	mg/l
0.05以下	0.05以下	mg/l
200以下	200以下	mg/l
300以下	300以下	mg/l
500以下	500以下	mg/l
0.2以下	0.2以下	mg/l
0.3以下	0.3以下	mg/l
0.005以下	0.005以下	mg/l
10以下	10以下	mg/l



一般財団法人
新潟県環境衛生研究所
Environmental Science Research Niigata

URL <http://www.kanken-net.or.jp>

POLICY

50年にわたる調査・分析の豊富な経験を 活かしたきめ細やかな業務。

当研究所が業務をスタートさせた昭和40年代は、水質汚濁や大気汚染などの公害問題の克服が社会的課題としてきわめて重要視されていました。当研究所では水質汚濁防止法、大気汚染防止法等の制定に基づく関連業務に取り組むため、専門スタッフの育成、調査・分析体制の整備に力を注いできました。その後も環境基準の告示や環境アセスメントへの関心の高まりに対応し、スタッフとともに技術・設備等の充実を心がけ、きめ細やかな業務を展開しています。

環境問題の重要課題に取り組むための 研究・分析体制。

ダイオキシンや環境ホルモンによる汚染、遺伝子組み換え生物の出現など、新しい環境問題に対応するため、近年の分析技術はより複雑化し、特殊な設備・機器が必要となっています。当研究所では、専門の研究員が、最新の設備・機器を利用して研究・分析を行い、特殊な分析であっても対応できるような体制作りを行っています。



激変する時代のニーズに合わせて 拡大する業務分野。

当研究所の業務は時代の進展と共に、自然環境、生活環境、社会環境などのあらゆる分野において広がりを見せています。これらの分野では、自然環境調査から、食品等の理化学・細菌学的検査まで、業務対象はきわめて多岐にわたっています。また、環境改善等の各種ご相談も年々増えてきており、それらについても柔軟に対応させていただいています。

正確な分析と、信頼性の高い分析結果を提供 するための取り組み。

検査機関にとっての最重要課題である品質管理。当研究所では、国際規格であるISO-9000品質システムの認証を取得し、現在はISO-9001:2015年版への移行が完了しています。「技術とシステムの融合により信頼と満足を継続的に提供する」との考えをもとに、今後も皆様により一層信頼され、親しまれる検査機関として、品質システムの維持管理・改善に全力を挙げて取り組んでいきます。



ISO 9001:2015
JQA - 2832
本所：分析業務



業務内容

■生活環境に関わる業務

飲料水検査	飲み水の安全確認のための検査 簡易専用水道の定期検査
食品検査	栄養成分、ビタミン類などの成分分析 食品中の添加物、有害物質、細菌などの検査 農作物などの残留農薬検査
衛生検査	検便などの病原性細菌検査 厨房、調理員などの総合衛生検査
施設検査	浄化槽、貯水槽などの施設の検査
医薬品検査	医薬品の原料や製品に関わる理化学試験
室内環境測定・分析	室内環境空気における有害物質濃度の測定

■社会環境に関わる業務

水の分析	河川水、地下水、海水、雨水、井戸水、プール水、工場排水などの検査・分析
土の分析	土壌、肥料、底質、産業廃棄物などの検査・分析
大気の測定	焼却場やボイラーなどのばい煙、排ガス測定 大気中の酸性物質などの測定・分析
悪臭測定	し尿処理場、ゴミ焼却場、工場などの特定悪臭物質の測定
騒音・振動測定	特定工場や道路などでの騒音・振動の測定

■環境保全に関わる業務

環境影響評価（アセスメント）	ゴミ焼却場、埋立地、ゴルフ場、工業団地造成、港湾、ダムなどの評価
自然環境調査	生態系調査、物理環境調査、交通動態調査、社会環境調査など
環境改善に係るコンサルティング	水環境改善、土壌汚染、騒音・振動制御などのコンサルティング
数値解析	水質、大気、交通量などのシミュレーション

■問題解決のための試験・実験

異物分析	食品などに混入していた異物の確認・特定
製品開発のための性能評価試験	抗菌性能、浄水性能などの評価試験

■微量分析

ダイオキシン類分析	排ガス、灰・焼却残渣類、大気、河川、地下水、土壌、底質、工場排水などの分析
放射性物質測定	食品、飲料水、土壌、排ガス他、各種媒体の放射性物質の測定 空間放射線量率の測定
分子生物分析	遺伝子組換え食品検査、米のタンパク質組成分析、アレルギー特定原材料含有検査、コイヘルペスウィルスの検査など
環境ホルモン分析	大気、河川、地下水、土壌、底質、工場排水、製品、容器、素材などの分析

■その他の活動

環境貢献事業	環境貢献に関する事業の支援、調査、技術開発
環境教育活動	自然観察など子供たちへの環境教育
講師の派遣	講演会等への講師の派遣
研修・視察の受け入れ	各種団体の技術研修・視察の受け入れ



生活環境

安全で快適な生活のために

長い歴史の中で築きあげてきた生活文化と、科学技術の進歩とが融合した豊かで快適な私たちの日常生活。しかし今、生活のさまざまな分野で将来に不安を投げかけることが生じています。この不安を最新の技術と先見性ある英知で解決し、生活文化や快適な生活環境を後の世代に伝え継ぐこと。それが今を生きる私たちの使命であると考えます。

[飲料水の検査]

飲料水の安全確保をめざして

水道施設の普及によりいつでも自由に水が使える快適で豊かな日常生活。しかし、近年は河川をはじめとする水道水源汚染の問題が浮上しています。当研究所は全ての人が安心して水を利用し生活できるように、最新鋭の分析機器を駆使し“科学の目”で、飲料水の安全と衛生の確保に努力しています。



[食品、医薬品の検査]

健康維持と安全な食生活を支える

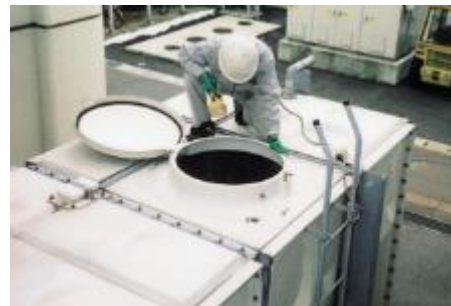
健全な食生活のためには、食材や加工食品だけでなく、容器、調理器具などさまざまなものの安全確保が必要です。当研究所では食品添加物や栄養成分の分析、有害細菌検査、容器具および医薬品等の試験を通して安全で豊かな生活を支えています。



[衛生施設検査]

適正な施設管理を進める

ビルなどでは給水施設を設置し、建物を利用する多くの人に飲料水を供給しています。この給水施設の管理や衛生状態を定期的に検査し、利用者の安全と衛生を確保しています。また、事業所から家庭用まで、浄化槽の管理状況や浄化機能について定期的に検査をおこない、地域の公衆衛生の向上と生活環境の保全に努めています。





社会環境

持続的で豊かな地域社会を目指して

豊かさと快適さを求めてきた現代社会。その反面、社会環境の汚染や公害はますます深刻化しています。社会経済的な営みによる公害は、現在そして未来のために知恵と工夫で解決しなければなりません。公害のない社会を回復し、持続するためには何よりも信頼性の高い確かな分析・測定により現況を正確に把握することが必要です。



[水質・底質、産業廃棄物などの試験分析]

地域環境を健全に保つために

近年、産業活動の拡大にともない派生した汚濁、廃棄物の排出等が問題となっています。処理施設の機能や河川・湖沼など排出先での環境への影響の有無を確認し、人為的活動による負荷の低減に努めることが大切です。当研究所では各種試験や分析を通して、地域環境を健全に保つためのお手伝いをしています。

[大気・悪臭、騒音・振動測定]

適正な測定、正確なデータを提供

環境問題への関心が高まりを見せる中、大気汚染物質による健康被害が懸念されています。また、地域住民に不快感を与える悪臭や騒音・振動の問題も各地で発生しています。これらの問題を解消するには、何よりも正確なデータが欠かせません。当研究所では現地での適正な測定に基づき、これらの問題解決のための正確なデータを提供するとともに、影響低減のための施設改善提案等も行っています。

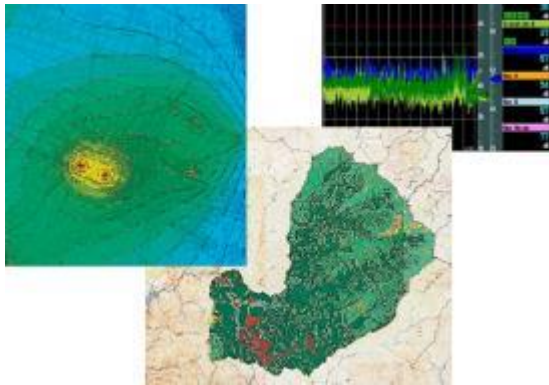




環境保全

人と自然の調和のために

海、山、川、湖、そして大地など、私達を取り巻く自然環境が健全であること、それが人の暮らしやすさの原点です。一度破壊したら、人の力では回復が困難な自然。先人たちが長い間、大切に守り育ててきたかけがえのない自然。私たちは私たちの知恵と努力で美しいままの自然を後世に残していかなければならないと考えます。



【環境影響評価（アセスメント）】

開発と自然の調和を目指して

社会の発展のためには、地域開発や都市計画などの社会基盤整備は不可欠です。しかし忘れてならないことは広い視野に立って開発と環境との調和を保つということ。当研究所は開発により自然および社会環境に与える影響を的確な調査・観測に基づき予測解析し、評価を行っています。また、多自然型河川など環境復元や快適環境の創造などにも積極的に取り組んでいます。

【自然環境調査】

技術と実績で自然環境に取り組む

水や大地をはじめ、そこに生息するさまざまな動植物。これらの自然はかけがえのない地球の財産です。また身近な自然は、その異変や変化で私達に警告を与えることがあります。それが社会・経済活動によるものならば、速やかな、そして適切な対処が求められます。当研究所は幅広い知識と卓越した技術により河川、湖沼等の水・底質や生態系調査など各方面から高い評価を頂いています。



【環境教育活動】

今日の知識を明日の環境のために

美しい自然を守り伝えていくためには、次の世代を担う子供たちが自然の大切さを知り、自然と親しむことが大切だと考えます。当研究所は自然観察などを通して子供たちへの環境教育活動に取り組んでいます。また、当研究所独自の「環境貢献推進事業」制度により環境保全に係わる研究を推進しています。

実験・微量分析

分析方法が法律で定められていないなどの特殊な分析依頼については、最新の設備と専門の研究者がお客様をサポートします。分析・報告書の作成だけでなく、どのような分析を行ったら良いのか、考えられる対策など、技術的なアドバイスも行っています。

また、微量汚染物質や分子生物学的な分析には、研究者や周辺環境を危険（ハザード）から守るための特殊な実験施設が必要となります。これらの研究・分析は、ケミカルハザード・バイオハザードに対応した施設で行われています。

特殊分析

製品や製造ラインで発見された異物の分析、製品開発のための性能評価など、問題解決型の分析を行います。専門の研究者が打ち合わせの中から、問題解決に必要な分析計画を立案し、お客様に必要な報告形式で分析結果をご報告します。



ダイオキシン分析

ダイオキシン類は200種類以上の化合物の総称であり化学物質の合成時や燃焼過程で生成されるもので、強い毒性を持っているため生体機能に重大な影響を与えます。ダイオキシン分析はサンプルから有機溶媒やカラムなどを使って目的物質を抽出・精製し、高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計で分析を行います。



環境ホルモン分析

環境ホルモンは内分泌かく乱化学物質の略称です。生体内においてホルモンの働きをかく乱したり、阻害して、生殖や発育など基本的な生体機能に障害を与えます。当センターでは、ダイオキシン分析と同様にサンプルから有機溶媒やカラムなどを使って目的物質を抽出・精製し、分析を行います。



分子生物分析

分子生物分析は、生物の遺伝子やタンパク質、あるいは微生物などを対象として生物学的分析手法を研究し、確立することを目的とします。これまでの理化学分析とは異なる新たな観点からの評価を与えることが期待でき、食品・水質、あるいは生態系調査への応用が考えられます。



設備・機器

当研究所の業務は、いずれの分野においても高いレベルの正確さ、精密さが要求されるため、業務を行う場合には、各種の先進的な設備・機器が欠かせません。当研究所では、計画的に新規設備の導入や機器の更新を行い、分析・検査体制の一層の充実を期しています。



■ 走査型電子顕微鏡
(エネルギー分散型X線分析装置付)



■ ガスクロマトグラフ質量分析計



■ 高速液体クロマトグラフ



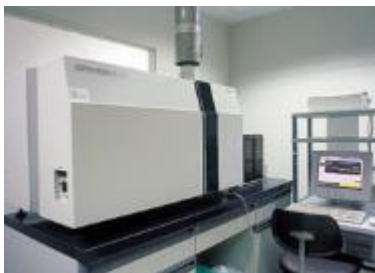
■ フーリエ変換赤外分光光度計
(赤外顕微鏡付)



■ 落射蛍光顕微鏡 (ノマルスキー付)



■ ICP発光分析装置



■ ICP質量分析装置



■ ガスクロマトグラフ



■ 食品・環境放射能測定装置
(ゲルマニウム半導体検出器)

その他の主な機器リスト

- 高速液体クロマトグラフ質量分析計 (LC/MS/MS)
- 原子吸光度計
- イオンクロマトグラフ
- コールターカウンター
- スパイラルプレーティングシステム
- 全有機炭素測定装置 (TOC)
- CN コーダー
- オートアナライザー

DATA

財団概要

名称 一般財団法人 新潟県環境衛生研究所
代表者 理事長 三富潤一
設立 1968年5月15日
URL <http://www.kanken-net.or.jp/>

業務紹介

◇業務課

依頼の受付や見積もり、契約など、受付窓口としての業務を行います。また、検体の収集や現場での検査・サンプリングなども行います。

◇分析一課・分析二課

依頼された様々な種類の検体に対し、各種分析・試験を行います。また、技術的な問題や検査計画・結果などについて指導・助言を行います。

◇先端技術センター

ダイオキシン類を含む大気環境の測定・分析を行います。各種の開発、建設等に伴う環境影響評価のほか都市環境調査、騒音・振動調査、河川・湖沼の水質や生態系の調査など、広範囲な環境調査を行います。また、地域の湧水調査等、環境貢献事業を行います。

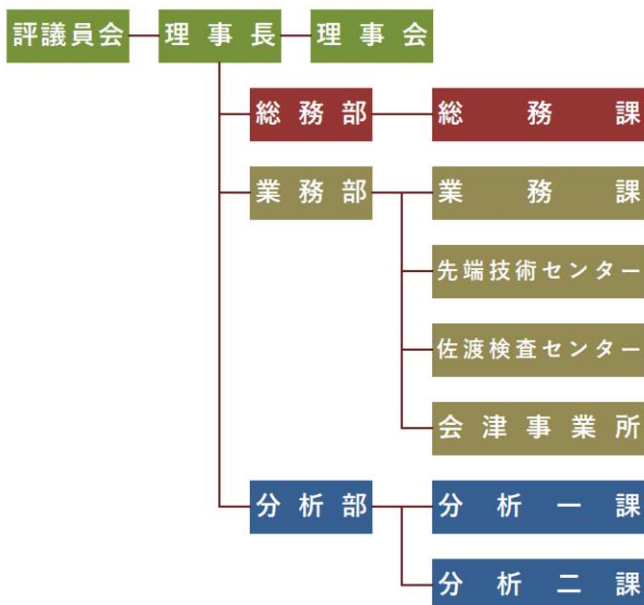
◇佐渡検査センター

佐渡島内における検査依頼の受付や検体の収集、細菌検査などの業務を行います。

◇会津事業所

福島県内における検査依頼の受付などの業務を行います。

組織図



検査機関としての指定および登録等

1976年	3月	計量法に基づく計量証明事業登録 (新潟県知事)
1982年	9月	建築物における衛生的環境の確保に関する 法律第12条の2に基づく登録 (新潟県知事)
1986年	7月	浄化槽法に基づく指定 (新潟県知事)
1989年	8月	臨床検査技師・衛生検査技師等に関する 法律第20条の3第1項の規定に基づく登録 (新潟県知事)
1998年	12月	ISO-9002 認証取得 ※1
2002年	6月	ISO-9001:2000 へ移行 ※1
2003年	1月	土壤汚染対策法に基づく指定 (環境大臣)
2003年	3月	計量法に基づく特定計量証明事業登録 (新潟県知事)
2003年	3月	特定計量証明事業者認定 (MLAP) ※2
2004年	2月	食品衛生法 第33条に基づく登録 (厚生労働大臣)
2004年	3月	水道法 第20条に基づく登録 (厚生労働大臣)
2004年	3月	水道法 第34条の2に基づく登録 (厚生労働大臣)
2004年	3月	薬事法 施行規則第12条第1項に基づく 試験検査機関の登録 (厚生労働大臣)
2007年	12月	ISO/IEC17025 試験所認定 ※3
2009年	12月	ISO-9001:2008 へ移行 ※1
2012年	4月	公益法人制度改革に基づき 一般財団法人新潟県環境衛生研究所 に改称
2014年	2月	ISO/IEC17025 試験所認定 ※4
2016年	10月	特許 6028652 号 登録
2017年	9月	水道水質検査優良試験所規範(水道 GLP)認定※5
2017年	12月	ISO-9001:2015 へ移行 ※1

※1 登録の対象範囲:

本所 分析業務 (JQA-2832)

※2 認定の区分:

大気中のダイオキシン類、水又は土壤中のダイオキシン類
(先端技術センター N-0140-01)

※3 認定の対象範囲:

排ガス、水全般、大気全般及び灰のダイオキシン類
(先端技術センター RTL02460)

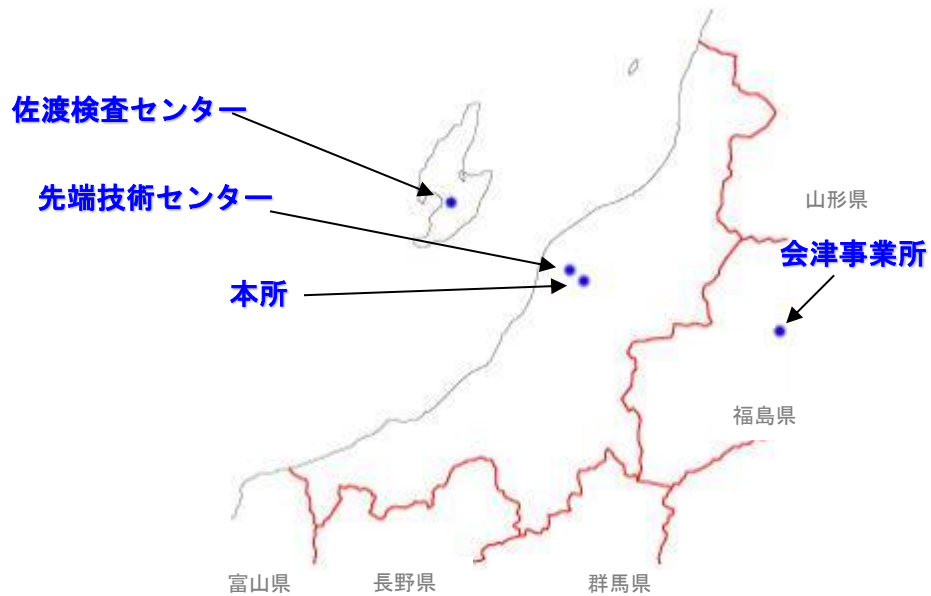
※4 認定の対象範囲:

水道水中の ICP-MS による金属類測定及び水道水、飲料水、
一般食品、乳児用食品及び飼料中の Ge 半導体検出器による
放射性核種 (Cs-134, Cs-137, I-131 を含む) 測定
(本所 分析部 77372)

※5 認定の対象範囲:

水道水質基準項目 51 項目 (水道水・浄水、原水)
(一般財団法人 新潟県環境衛生研究所 JWVA-GLP135)

LOCATION



◇本所

〒959-0291 新潟県燕市吉田東栄町 8 番 13 号
TEL 0256-93-4509 (代表) FAX 0256-92-6899

業務課： 各種検査・測定・分析等の受付窓口、
貯水槽等の施設の検査

TEL 0256-93-5572 FAX 0256-94-0988

分析一課： 各種食品・飲料水等の分析検査、衛生検査等
TEL 0256-93-5588 FAX 0256-94-7066

分析二課： 水質・土壌・産業廃棄物等の分析検査、
浄化槽の検査等

TEL 0256-93-1010 FAX 0256-94-0988



◇先端技術センター

〒953-0135 新潟県新潟市西蒲区南谷内 333 番地 1
TEL 0256-91-4114 FAX 0256-91-4118
E-mail sentan@ns.kanken-net.or.jp

大気環境の測定・分析、ダイオキシンの分析、
各種環境調査、コンサルティング 等



◇佐渡検査センター

〒952-0302 新潟県佐渡市竹田 1042 番地 10
TEL 0259-55-2819 FAX 0259-55-4202
E-mail sado@ns.kanken-net.or.jp

佐渡島内における業務全般、細菌検査

◇会津事業所

〒965-0053 福島県会津若松町北町上荒久田宮下 3 番地 2
TEL・FAX 0242-22-1882

福島県内の各種検査・測定・分析 等の受付窓口